

# 福島県立郡山北工業高等学校



# 同窓会報

平成13年2月25日

## 第51号

# 2001

発行所 / 〒963-8052

福島県郡山市八山田二丁目224番

福島県立郡山北工業高等学校同窓会

☎ 024(932)1199

FAX 024(935)9849

発行者 / 増子 久治

編集者 / 大河原 勇一

発行部数 / 20,000部



## CONTENTS

会長の挨拶、新会員の言葉(卒業生)	2
校長の挨拶、定時制だより(定時制教頭)	3
平成12年度定期総会報告	5
支部だより	6
講演「郡山市教育長 丹治 勇氏」	7-8
母校近況	9
(生徒会だより、全日制、定時制、部活動等の活躍)	
母校近況(進路状況)	10
特集「定時制の閉課程」	11
平成11年度決算報告・基本金報告・新会員報告	12
平成12年度同窓会役員名・一般寄付者名 全会員の人数等その他	13
平成12年度同窓会定期総会の様子 事務局だより	14

## 同窓会定期総会開催のお知らせ

平成13年度定期総会を下記のように開催いたします。

- 日 時 / 6月16日(土) ● 午後4時00分より 総 会  
● 午後4時40分より 懇親会
- 場 所 / ホテル「はまつ」(郡山市虎丸町3-18 TEL 024-935-1111)
- 会 費 / 5,000円(平成12年度卒業生は3,000円)

※詳細については同窓会事務局へお問い合わせください。

同窓会事務局(郡山北工内) TEL.(024)932-1199 FAX.(024)935-9849

※参加は会員であれば自由ですので同窓生・同級生・会社の同僚等お誘いのうえ多数参加されますようご案内申し上げます。  
(参加希望者は同封の振込用紙にて通信欄に一般寄付・総会会費の別をはっきり記入のうえ会費を納入ください。)

# 会長のあいさつ

同窓会会長 増子 久治



## 将来を考えよう

同窓会会員の皆様にはご健勝にご活躍されている事と、お喜び申し上げます。また同窓会活動に物心両面、ご協力、ご支援頂き感謝と御礼申し上げます。

激動と動乱の二十世紀にも終わりを告げ、希望に満ちた二十一世紀の幕開けを期待しての年始でありましたが私達を取り巻く経済、社会環境は決して明るいものではなく、より厳しさの増した感じのする年始であったと思います。

政治不信、株価の低迷、銀行、保険会社等金融機関の破綻、大企業の倒産、生き残りをかけた企業間の統廃合、大リストラ等々、日本全体が今にも沈没するのではと不安が頭を過ぎる日々ですが、このような状況下でも同窓会員の皆様は本校で培った勤勉実直、粘り強さと忍耐力で元気に頑張っておられる事を、ご推察

申し上げます。

学校の方でも、近年言われて来ました、少子化による影響が徐々に表れて来ましたが、昨年、会報で間もなく定時制の灯が消えると報告しましたが、今春より郡山駅前再開発ビルに四郡山駅前再開発ビルに四年生工業科を残し大部分が移転致します。同時に今年まで二学級であった電気科の募集が今春より一学級となり寂しさが増した感じが致します。日本の戦後復興から高度成長期に若者の教育必要上大いに増やされ、日本産業、工業界で最大に活用された工業系高校も少しずつ減少するもの、少子化と昨今の大学等を含めた進学者の占める割合が高くなり、高学歴となる現在ではやむを得ない自然の流れなのかも知れません。

に感じられます。不況の影響で、かなりの数の生徒の就職が決定されていない学校が多数あると聞き及んでおります。この様ななか採用された皆様に申し上げたいと思います。採用試験により合格したその生徒の実力のみでなく、これまで永きに亘り、勤勉、忍耐、真面目さを認められた先輩諸士の力や学校関係者の努力の結果を考えるべきであらう。新設なつた学校より新卒者が採用試験を受け良い成績であったとしても即、合格とはならないであらう。そこにはそれまで長い時間をかけて、認められた、その学校の信用であらう。また進路指導担任の先生、関係先生方の企業に対し努力した結果の表れも大きいと考えます。この様にして決定された職場です、就職して短期間で辞めるような事は慎んでいただきたい。採用する企業にも、その人達に期待をかけているし企業により差はあつても、一人前の社員に育てる迄にはかなりの投資が必要です。投資するだけで、その人が辞めてしまえば、お金を溝に捨てる様なものです。諺に「石の上にも三年」と申します。今の若い人は、我慢が足りないなどと言われぬよう、忍耐力を身に付け、目標を持ち、これから皆

さんの後に続く後輩の模範となられるよう願つてやみません。また、今年の成人式に見られるように、大人の仲間入りを祝うべき成人式で一部の若者(馬鹿者)の人の迷惑を考えない傍若無人な言動によつて厳肅であるべき式典を台なしにしてしまう、本校の同窓生や在校生にはこの様な人は居ないと安心しておりませんが、同年代の皆さんは考えていただきたい。

又、進学される皆さんはより高度の学問と知識を身に付けると思ひますが学問は姿や形の無い一生の宝です。多くの事を学ぶと同時に心豊かに人の痛みをわかる人に成長していただきたい。知識はこれで満杯と言う事はありません。人より一つでも多く吸収し将来活用していただきたいところです。同窓会員は各地で活躍されており、そのような会員の皆様と会われた時は気軽に声をかけて下さい。必ず皆様の力となつて下さると思ひます。

学校の事も新聞やテレビ、ラジオなどで在校生の活躍等には一喜一憂し話題には自分の事のよりに耳を傾けております。それも母校愛の表われであると思ひます。終わりに皆様全ての健康と活躍を祈念し挨拶と致します。

## 新会員のことは

新会員代表 環境システム科

渡邊 拓磨



## 同窓会に入会するにあつて

この度の郡山北工業高校同窓会の入会は僕達にとつて3年間という月日を楽しくそして時には助け合いながら仲間達と無事過ごすことのできた証でもあります。

北工には「工業高校」として築かれた長い歴史があります。その歴史も今日輝かしい「実績」となり、県内はもちろん県外の企業からも大きな信頼を得られていることは、今や北工の大先輩になられている同窓会の方々の活躍の他ありません。そしてその多くの信頼を築いてきた北工同窓会に入会するという事はそれを維持、さらには発展させていくことが僕達の使命になると感じています。

これからは社会人として先輩方と様々な場合で多くのご協力をいただくことがあると思ひます。その時はぜひともあたにかいご指導、お導きをお願いいたします。そして北工同窓生の名に恥じないよう日々、の努力に尽くしていきたいと思ひます。

# 学校長あいさつ

校長 猪狩 次夫



新世紀を迎え、皆様方には益々御健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃は母校の教育活動に対しまして温かい御理解と御支援を賜り誠にありがとうございます御礼申し上げます。

さて、一向に回復の兆しが見られない経済状況を反映して、新規卒業者の就職、特に高校卒業生に対する求人が大変厳しい状況にあります。高卒者の離職率が高い(高卒就職者の内、半数近くの方が三年以内にやめてしまうこと。)ことが、企業の高卒者離れを惹起しているとのことです。高校側としては大変頭の痛い問題です。本校においても就職数ヶ月にして退職してしまうという事例が一件ならず数件発生し、会社にお詫びに行くなど、事後処理に大変苦勞しました。こんなことは、今までになかったことであり、事態を深刻に

受け止めております。

とは言え本校においては、そのような厳しい状況下にあつても、若干昨年を上回るのではないかとと思われるような成果を上げることができ大変うれしく思っております。これも偏に同窓生の皆様方の立派な御活躍と後輩たちに対する温かい御配慮の賜と、衷心より感謝申し上げる次第であります。

ところで、本校は今、大きな変革期を迎えております。

先ず、定時制の課程がいよいよ残すところ二年となりました。定時制には現在、工業科三、四年生と普通科一、二年生の四学級がありますが、来年度は、工業科四年生のみとなり、その生徒たちが卒業しますと、定時制の課程は廃課程となります。普通科の二、三年生は、郡山駅西口再開発ビル「ビッグアイ」に、あさか開成高校の定時制・通信制と本校の定時制とが統合される形で新設される新しいタイプの定時制・通信制高校に移ることになっております。昭和三十四年に夜間課程産業科として出発し、爾来四十有余年にわたり千四百

名に近い有為な人材を世に送り出してきた功績、そしてその永い歴史と伝統に思いをいたすとき、同窓生の皆様の寂しさもいかばかりかと推察いたしております。

次に、全日制では来年度電気科が学級減となることになりました。これは、中学卒業生の減少期を迎えるの措置ですが、創立以来、二十四年間続いてきた一学年十学級体制が改められるわけで、大きな変革と言えます。さらに県教委では、一学年八学級の適正規模化の方針を打ち出してまいりますので、近々本校も一学年八学級となるものと思われまます。生徒数が減ることは、これもまた一抹の寂しさを禁じ得ません。施設設備にゆとりが生じるというプラス面に目を向け、更なる質的充実を目指して努力して行きたいと考えております。

以上、母校の近況の一端を紹介申し上げます。御挨拶といたします。

## 立郡山北工業



同窓会総会であいさつする学校長猪狩次夫氏

### 「有終の美を」

定時制教頭 松浦 健二

同窓会の皆様には日頃より定時制に対しご支援をいただき、本当に有難うございます。

今年3月に卒業する生徒は17名。4年間よく頑張ったと思います。これからの活躍を期待したいと思います。昨年6月の県高校定通体育大会において、ソフトテニスが団体、個人ともに優勝。団体、個人3ペアが全国大会へ出場しました。伊藤君が4年間全国大会出場で特別表彰されました。

今年度は本校にとつて、4学年がそろそろ最後の年となりました。1年、2年生は、今年4月より郡山駅西口の「ビッグアイ」の8階から14階に入る郡山萌世高校に移ります。3年生は4年生として本校で工業を学び、明年度は4年生13名1クラスのみとなります。彼らが卒業すれば、定時制42年の歴史が閉じられます。同窓会の皆様には、この二年色々とお世話になります。よろしく申し上げます。

●企画 ●設計 ●監理

**有限会社 古川 弘建築設計室**  
一級建築士事務所

代表取締役 古川 弘  
(昭和40年度建築科卒)

〒963-8831 郡山市七ツ池町18-8  
TEL (024) 925-5800 FAX (024) 925-5840

**株式会社 清水工業**

代表取締役 清水 善一  
一級建築士  
(昭和31年 建築科卒)

郡山市西ノ内一丁目11番7号  
TEL (024) 932-4318 (代)

**水と空気と人間。**  
都市環境の快適空間づくり  
それが私たちのテーマです。

取締役社長 先崎 一郎(昭和31年度機械科卒)

**TEP 株式会社 東北エントープライズ**

本社/福島県郡山市開成4-8-15 〒963-8851  
TEL 024-933-2655(代) FAX 024-923-2555  
仙台支店/仙台市青葉区宮町4-2-22K's/ワース2F 〒980-0004  
TEL 022-265-8333(代) FAX 024-265-6395

空気調和設備、給排水衛生設備、防災設備、汚水浄化設備の設計・施工・保守管理・リニューアル

# 平成12年度 同窓会定期 総会報告

## 平成12年度 同窓会定期総会報告

6月10日(土)午後5時半から二百四十余名の会員の参加者を得て郡山市の郡山ビューホテルで開催されました。

### 「開会の言葉」

副会長 宗像 俊郎 氏  
平成12年度郡山北工業高等学校



総会議長 古川 弘氏(昭40 郡 建)  
書記 小野一夫氏(昭54 北 化工)

校同窓会定期総会の開会を宣言されました。



同窓会総会であいさつする同窓会長 増子久治氏

### 「会長挨拶」

会長 増子久治 氏

ご列席の皆様へ、日頃からの同窓会に対するご厚情やご協力に対して御礼申し上げ、母校に対する皆様の思いやりが各支部を始めとする総会に多数のご出席を頂いていることに結びついているのではないかと挨拶されました。また、本日は総合理解と親睦を深めて有意義に過ごしていただきたいと挨拶されました。

### 「学校長挨拶」

学校長 猪狩次夫 氏

同窓会総会が盛大に開かれたことにお祝いを申しあげ、日頃からの来賓の皆様や同窓会の方々には、学校の教育活動に関しまして色々な面でご理解とご支援、ご協力を頂

いていることに御礼を申しあげた後、学校の近況について次のように報告されました。

進路、特に就職問題が皆様のご協力により前年度同様に実績を持って内定頂いておりますが、年々厳しくなっているのが現状であります。その中で生徒諸君が真剣に受け止めてない者もあり、1年も経たないで辞めてしまうので大変申し訳なく悩んでいます。その様な中でも大変嬉しかったことは、ロボット大会ですばらしい成績により、県の教育委員会から表彰を受けたこと、その他の部活動でもギリギリのところまで全国大会を逃しておりませんが、大変すばらしい成績を残せたことなどを報告し、日頃のご支援に感謝申し上げますと挨拶いたしました。

### 「来賓祝辞」

福島県県議員 植田英一 氏

子供が北工にお世話になつてから、20年以上同窓会の方には、お邪魔をさせていただいていると挨拶されました。

また、最近の社会情勢にも触れられました。IT革命や少年問題等を取り上げ、少年問題には教育が勿論そこに関係があり、道義の低下今日極まりと言う感じで、一番残念に思っている。私も政治家や政治関係者は特に責任を感じなければならず、政治家が総理大臣

以下が毅然として清潔で本心に国民の模範に成り、政策中心の政治であれば、起こらないと思っておりますと挨拶されました。



同窓会顧問 植田英一氏の御挨拶

### 「支部長代表挨拶」

日立支部長 荒木 勉 氏

本部総会のお祝いを申しあげた後に各支部の出席者を紹介されました。日立支部の現状報告をされ、諸般の事情で支部総会を延期していたが、今年は記念の45周年という事で、日立支部としては初めて機関誌、記念誌を発行する事になり、貴重な寄稿を投稿の原稿量が、我々が思ってもいなかった程になり、非常に感激していると申されました。記念誌をまとめる中で郡工の20周年郡工賛歌を同窓会から贈った曲の作曲が市川昭介氏で、作詞が恩師の関根健一先生だった事や北島三郎の「年輪」を関根先生が作詩された事に気づいたことや戦災で日立工場で多くの殉職者が出た

最新設備の工場で、より充実したメンテナンスをめざします。

民間車検場  
教職員共済・全労済・自治労共済 指定工場

株式会社 三善自動車工業  
MIYOSHI  
代表取締役 渡辺善二郎  
福島県郡山市富久山町福原字中田14番地  
(昭和41年度機械科卒)  
TEL 963-8061  
FAX 922-5625

年中無休

箭内邦夫司法書士 土地家屋調査士事務所

司法書士 箭内 邦夫  
土地家屋調査士  
行政書士 (昭和38年度建築科卒)

事務所 / 〒963-4312 田村郡船引町大字船引字扇田15-1  
TEL (0247) 82-0367 FAX (0247) 82-2027  
自宅 / 〒963-4312 田村郡船引町大字船引字北元町10-3  
TEL (0247) 82-1286

●行政相談委員(総務省)  
行政上の無料困りごと相談等、常時受け付けております

佐藤 実  
建築設計事務所  
ヤマトビル4F

所長 一級建築士 佐藤 実  
(昭和33年度建築科卒)

事務所 / 郡山市麓山一丁目7番18号ヤマトビル4F  
TEL (024) 933-3894 FAX (024) 933-2740

事などを話された後、支部の近況を報告されました。最後に学校、同窓会が益々発展されることを祈念いたし、挨拶とされました。

「議長選出、書記任命」

執行部事務局一任と一言うことで、事務局長の大河原氏より、議長に郡工40年度建築科卒の古川弘氏、書記に北工54年度卒業の小野一夫氏を提案され承認を頂きました。

「議事」

事務局長の大河原氏より総会資料に照らし合わせながら、平成11年度庶務報告、会務報告、新会員報告、11年度転出者及び12年度年入者の報告をされました。異議なしの多数のお声と共に多数の拍手をもって承認されました。

引き続き会計担当の達崎氏より11年度の会計報告がされ、会計監査の熊田良治氏より、会計監査の加藤和夫氏、遠藤勉氏、と共に諸表簿・通帳を厳正に照合した結果異常がないと認めたと報告がありました。異議なしの多数のお声と共に多数の拍手をもって承認されました。その後平成12年度事業計画案と予算案を大河原氏から提案され、審議の結果、異議なしの多数のお声と共に多数の拍手をもって承認されました。

「閉会の言葉」

同窓会副会長

滝田孝太郎 氏

スピーディーな審議のお礼を申し上げますと申し上げ閉会を宣言されました。

「講演会」

別記の様に演題とプロフィールをご紹介後、御講演いただきました。

「懇親会」

講演会に引き続き、同窓会副会長の滝田氏が懇親会の開会を宣言し、増子同窓会会長、猪狩学校長、平成12年度PTA会長の大方氏よりそれぞれご挨拶を頂きました。前同窓会長で在り、同窓会顧問の先崎一郎氏からもご挨拶を頂き、先崎氏の御発声で乾杯いたしました。

歓談の中、祝電披露が行われ、祝宴は会長が挨拶されたように、立場と世代を乗り越えてお互いに親睦を深め、名残惜さないまま盛会の内に閉会いたしました。



懇親会

地球の裏側で  
頑張っています。

相沢 寛明 平成4年北工建築科卒  
父親も40年建築科卒

サンパウロ総領事館に二月二十八日に着任した相沢寛明副領事(二四)が十八日、本社を訪問、今後の抱負などを語った。同副領事はサンパウロ総領事館で最も若い領事として、主に日系二世担当の査証業務を行っていく。

相沢さんは二十歳で外務省に入省。四年間、PKO問題などを扱う国際平和協力軍に勤務した経歴を持つ。その後、語学研修のためにポルトガルに八ヶ月滞在し、今回、ポルトガル語専門家としての着任となった。これでサンパウロ総領事館には池田主席領事を筆頭に四人のポ語専門領事がそろった。

今後、査証部で日系二世向けのビザの発給業務を主に担当していくことになる相沢副領事は「今はまだ慣れることに精一杯」としながらも、「大切な仕事だから、二つ慎重にやっしていきたい」と決意を新たにしていた。

また、相沢副領事の前任者で、査証業務を担当していた工藤芳伸領事(四九)は二年五カ月の任務を終え、十六日に帰国した。

2000.2.19(ツケイ新聞より)

FA・OAのシステムプランナー

**株式会社 ニノテック**

代表取締役社長 **樽川次男**  
 企業内支部長 **安斉芳夫**  
 常務取締役 (昭和41年 電気科卒)

本社/郡山市島二丁目44番2号  
 TEL024(935)1700(代)

●カーコンサルタント

**Imakawa**

**株式会社 今川**

代表取締役 **今川直彦**  
 (昭和34年 機械科卒)

本社〒963-0111 郡山市安積町荒井字東前田37-3 ☎(024)945-1623(代)  
 車検センター 郡山市安積2丁目184-1 ☎(024)945-8300  
 成田工場 郡山市安積町成田字高田47 ☎(024)945-2478

ワールドジャーナル事業部  
 (有)極東ジャーナル

**滝田孝太郎**  
 (昭和42年 電気科卒)

福島支局 〒963-0111 福島県郡山市安積町荒井字神明50  
 TEL(024)945-0793  
 営業本部 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目10-11  
 TEL(03)3278-8587  
 本社 〒862-0950 熊本市水前寺6丁目42-10  
 TEL(096)382-9123

塗料及塗装の専門商社

街にいろどり、くらしに喜び。

**株式会社 テックス**

代表取締役社長 **縦山哲男**  
 (昭和53年 工業化学科卒)

会社 〒963-8845 郡山市名倉14の2(桜小学校前)  
 TEL(024)945-1499(代) FAX(024)945-1485  
 自宅 〒963-8846 郡山市久留米1丁目41の4  
 TEL(024)945-2895

**IS**

**春日設備工業株式会社**

代表取締役 **春日力**  
 (昭和40年 建築科卒)

須賀川市堀底町18  
 TEL(0248)76-2131(代) FAX(0248)76-2132

**今泉善治**  
 (昭和26年 機械科卒)

郡山市中町3-1 TEL(024)932-2140

# 支部だより

## 東京支部



東京支部長 小野寺 昭

新年を迎えられ、晴れやかに21世紀のスタートをきられたこと存じます。世紀の変わり目の今、グローバル化、少子高齢化社会、IT革命、産業構造等の転換など、大変化の中にあり、その対応が求められています。このような環境化の中で、この二年間支部活動を行ってきた。概要を報告いたします。

- (1) 東京支部役員会(本部総会対策)
- (2) 支部二役会(日程検討、その他)
- (3) 本部定期総会出席
- (4) 支部より五名出席
- (5) 水戸支部・日立支部総会出席
- (6) 支部役員懇親ゴルフコンペ開催(よみうり・ゴルフクラブ)
- (7) 上部団体、東京福島県人会参加(現在県人会会長 川島広守氏 現アロ野球コミッショナー)
- (8) 北工同窓会代表として会計理事担当
- (イ) 県人会役員会出席
- (ロ) 県人会主催、ふるさと訪問ゴルフ大会参加(年一回開催、今回中通り地区幹事役、石川カントリークラブ)
- (ハ) 県人会秋期総会出席(三名出席)
- (ニ) 県人会発足五十周年記念祝典

以上のような活動内容でした。今後は東京支部の活動展開や、活動の活性化など継続的な課題、その対策を講じて推進を図る必要があると考え

られます。又共通するテーマやニュースの内容など、なかむずかしい課題、共有する価値観のちがいが、年代層等の問題もあり、簡単に明確な回答が見い出せないのが現状です。

支部活動も無理のない長続き出来るテーマや、共有出来る事柄を取り上げ活性化を図り対応していきたいと考えております。

今後は21世紀をお互い希望に満ちた目標に向かってがんばります。どうか今後ともますますのご支援、ご協力をお願いいたします。

最後に平成13年度東京支部総会日程についてご案内いたします。

### 記

日時 平成13年6月23日(土)  
 場所 東京都台東区上野公園4-56  
 (株)精養軒(上野精養軒)  
 電話 03-3821-2181

支部会員には改めて連絡します。支部会員以外の会員の参加も歓迎いたします。

## 日立支部



日立支部長 荒木 勉

日立支部の平成12年度は西暦2000年と重なり、創立45周年の記念すべき年でありました。更に我々日立支部会員の殆どがお世話になつて(株)日立製作所も創立90周年を迎え、これまた記念すべき年となり誠に喜ばしい年でした。

ここに日立支部が創立45周年を迎えられたことは、重に会員の皆様を初めとし、母校の歴代校長先生、同窓会本部の歴代会長、更には各支部の方々の暖かい

ご支援、ご援助があったからと深く感謝申し上げる次第です。

さてこの1年の日立支部活動を振り返つてみますと先述の創立45周年の記念総会を平成12年6月16日(金)に学校側から猪狩校長先生、同窓会から増子会長その他大勢の来賓をお招きし開催致しました。

この総会では日立支部創立45周年の記念誌「飛翔」を配布し、過去45年間の懐かしい昔話に花を咲かせました。日立支部での記念誌発行は初めての経験であり仕上がり不安でしたが、会員を初めとする関係各位のご協力によりどうにか纏め上げることが出来ました。

記念誌編集は全て会員の手作りで体裁は芳しくありませんが心がこもった暖かいものに完成したものと自負しております。

特に編集で配慮した点は日立支部の過去45年間の活動実績や出来事を年表形式とし、その時代の社会の出来事やエピソードを加え、(株)日立製作所及び関連会社の出来事や、歴代の総理大臣などを網羅し、日本国と世界各国に飛躍し活躍した当支部技術者の情報などを盛り込み、更にこれらの出来事を写真で補足し纏め上げたことであります。

又、今回記念誌作成にあたり各方面の方々より貴重な原稿を投稿して戴いたことに対し厚く感謝申し上げます。

日立支部の交流は平成12年2月5日に水戸支部の創立40周年記念総会に荒木日立支部長ほか2名が出席しました。又、平成12年6月10日の本部総会には(荒木)日立支部長ほか3名が出席させて戴きました。当日は数多くの参加者で会場を埋め尽くされ盛大な本部総会であったことは感嘆させられました。

更には平成12年9月4日(月)には母

校から「父母と教師の会」による(株)日立製作所日立事業所の研修見学会が行われました。当日は大方PTA会長さんを初めとする会員33名の方々が遠方よりバスでお越し戴き大変お疲れだったことと思ひます。当日は同窓生代表による応対で小平記念館で会社の概要を観て戴き、大型加工機械や精密加工機械などが備えてあるタービン工場を見学、その後会食をしながらの意見の交換などを行い研修会を終了致しました。

研修会では意見交換の内容を熱心にメモを取る光景も見られ本研修に対する意気込みが感じられ、(株)日立製作所日立事業所の御案内及び説明を行われました。当日日立支部メンバーと研修された方々が相互に理解を深めたことは大変有意義であった事を申し上げます。

日立支部はこれからも母校と企業間の橋渡しとなれるよう交流を続けて行きたいと思ひますので今後とも宜しくお願い致します。

21世紀2001年のスタート、お互い前進・飛躍しましょう。



PTA役員(株)日立製作所訪問記念



日立支部創立45周年記念総会 6月16日(金)

年2月に水戸支部40周年記念総会を開催したため、今年の総会は実施しませんでした。

6月1日の本部総会には水戸支部より八代支部長・橋本副支部長・舞木理事長と県庁ブロック・浅野・二宮・柳沼各氏6名の大人数が参加しました。

6月16日の日立支部45周年記念総会には八代支部長・舞木理事長が参加し夫々懇親を深めました。

7月5日支部役員会開催。会員も仕事で忙しく、なかなか同に会しての行事等難しいため、比較的皆んなで楽しめる行事を計画することにしました。水戸支部会員も年々定年退職者を迎える時期になってきました。そこで、平成13年には定年・現役会員が参加できるハイキングかバーベキュー大会を実施し会員の親睦を深めたい。

今年も県庁ブロックを紹介いたします。平成12年5月、橋本副支部長がJR東日本を目度く定年退職され、支部長出席によるお祝いを盛大に行いました。平成12年12月、7名で忘年懇親会を開催しました。八代支部長ご招待により、大いに飲んで楽しく親睦を深めました。尚、県庁ブロックは勤務地が水戸・高萩・下館・土浦と遠く離れているため、情報交換を含め定期的に懇親会などを行い会員のコミュニケーションを図っております。以上

## 水戸支部



水戸支部長 八代 正雄

21世紀の幕開けの新春を迎えたことを心からお喜び申し上げます。平成12



水戸支部懇親会

# 同窓会総会で の講演会

演題「教育改革の現状と今後の課題」  
講師 郡山市教育長 丹治 勇 氏



講師プロフィール

昭和29年度福島県立郡山工業高等学校卒業、更にその後福島大学に進まれております。卒業後小学校、中学校で教職に就き、昭和40年度より県教育庁の県中教育事務所指導主事。その後、県北教育事務所や義務教育課の指導主事、管理主事を担当。昭和61年度より郡山市教育委員会学校教育課長、4年間勤められました。平成2年から、県南教育事務所所長、県中教育事務所所長、更に平成5年7月より、郡山市教育委員会教育長に就任されております。平成7年度より、福島県都市教育協議会会長(10市)、平成12年度より東北都市教育協議会会長(88市)、同じく全国都市教育協議会副会長を勤められております。

## はじめに

今日は定例の同窓会が役員の方々初め、会員の皆様方多数の御参加により盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。ただ今は大変丁寧なご紹介をいただきましたが、今日は同級

生も来ており、また、恩師の方も見えるようなので、非常に緊張しています。私は昭和28年度卒で、学校要覧を見せていただく、昭和22年から郡山市立の高等学校になり、29年の3月31日で市立が終わって県立に変わったので、私の卒業が実は郡山市立の最後の年ということになります。その後県立になった事が分からなかった時もしばらく続いた訳でございます。私は話の上手な方ではありませんが話を致します。

## 教育環境の現状

教育改革の現状と今後の課題と言う事なので、郡山市という都市は教育関係で言いますと民間的な傾向の強い市です。幼稚園にしても39園幼稚園の内34園が私立です。5園が公立になってますが、収容人数を見ましても96%が私立に入っており、あとの4%が公立です。公立が在るのが分からないと言う方も多いようです。また小中学校に付いては、義務教育ですので、どこの市町村も公立がほとんどです。郡山の場合にはザベリオ小中学校が在りますので、91小中学校の内、89校が公立と言うことになっており、大半が公立です。高等学校については、県全体が私立と公立の比率が18・82と言う様な状況です。私立が18%ですから、郡山市の場合には圧倒的に私立が多く、48%の収容力を持っておりまして、52%が公立なので、半分ぐらいの状況で公立と私立の高等学校が存在している状況です。また大学については、すべてが私立の大学です。大学の数は比較的少ないけれども、県内全体の学生の収容力率から言いますと48%の学生を郡山市が担っておりまして、後は福島市が沢山在ります様ですけど10%程少な

い。いわき市、会津若松市では更に「桁二桁初め」と言ったような状況であり、郡山市は若者の多い町という要因の一つになっていると考えております。

## 健やかな成長を目指す 郡山市の教育改革

郡山市の教育改革はあくまでもこの子供たちの健やかな成長を目指しての改革でございます。また、市民の様々な要請に対してどう答えていくのか。その様な観点からいま教育改革が積極的に進められていますが、それと合わせて、地方分権、この推進法、一括法と言うのがこの4月からスタートいたしました。大夫この市町村に権限が委譲された反面、かなり財政負担も大きくなってきています。行財政改革が積極的に進められている現状でございます。

## 子供の社会問題の現状

皆様をご承知のように、一番の社会問題は日本の青少年がどうなっているのか言うことと考えております。特に高校生の子供さんをお持ちの方は大変心配をされているのではと思っております。特に全国的にはこの17歳少年のハイジャックとか、或いはまた主婦殺人とか、或いは5千万以上に巨額のイジメ等によるこの恐喝がございました。福島県では無いのだろうと思っております。女子高校生を2人含む5人の生徒と有職少年による恐喝とリンチ事件がございました。それから66万円の横領事件の様に、規模は小さいが、そういう傾向が見られます。大変心配されていると考えております。すべての高校生が或いは中学生がそういう傾向にあるのかについて、現実には私も特に小中学生を対象に子供

の状況を調べてみますと、だいたい小中学生全体の0.1%位の子供に心配がある状況が出ております。0.1%とは3万5千の35・36名であります。社会に与える影響は大きく、社会への浸透力も大きいので、どのような対応が必要かが課題であります。既にご承知の通りマスコミ等でご覧になりますと、家族の在り方が大きな問題と考えております。

## 家庭・学校・地域の教育力の向上

簡単に言えば家庭教育をまず中心にしながら、そして学校教育、更に地域の教育それぞれをどう高めていくかが大きな課題と考えるところでございます。そこで本市の場合はどのように取り組んでいるかと言うことについて簡単に申し上げます。家庭教育についてはすべての学校に家庭教育を学級に位置づけております。そこに集まって来られる方は、1割から2割と言ったことが多く、いわば仲良し学級という様な形になっている所も多いです。そこに来られる方の家庭教育は余り必要性を感じず、そこにお出でにならない家庭の中に色々課題がある訳です。そういう方々に少しでも多く出て頂くために、特設講座などを設けて時間を換え、場所を覚えて出来るだけ多くの方に出席していただく事、更には教育相談を充実しよう、教育相談センターを設けて来所による相談を受けたり、或いは手紙による相談。更には全国で2番目に成るメールを位置づけて、色々相談を受ける事をしています。学校の教育力と言う面については、学校は当面している課題が非常に多く、その解決に向け、21世紀もその展望にたった教育実践をして行かねばならないので、そういう面

から教育改革を中心にしながら、学校の教育力の向上を図っていきたくと考えているところでございます。また、地域の教育力には難しい訳で、それぞれの方々が地域にお出でになって、地域の教育力をどの様にするのか考えますけど、これについては、明い町づくり推進委員会とか、青少年健全育成協議会とか在りますが、なかなか子供が地域で活動しない状況では、子供の地域における教育力と言う面について問題ですので、地域子供クラブというものを立ち上げ、これを核としながら進めていきたい。こんな考えで進めているところでございます。

## 男女共学化と新しいタイプの高等学校

高等学校についても平成13年度は郡山市の高校が最も変わる年と思っております。それは安高、安女を含めまして男女共学化が行われ、すべての高等学校が男女共学化が行われます。また、新しい時代に対応する新しいタイプの高校としまして、郡山駅前の再開発ビルの中に単位制による定時制課程、通信制課程の高校が出来上ります。特に高等学校の場合には毎年1000名を越える中途退学者が居る状況で、その後勉強しようと言う方がいても、機会がありませんでした。郡山駅前ですと駅にドッキングしている施設ですので、かなり広範囲な場所から通学が可能になってきます。県の方で想定しているのは西は猪苗代、東は大越の先あたりまで、南の方は泉崎、北の方は安達の方まで二応考えております。非常に広範囲の中にあつて進めます。高等学校の場合には、ある面から言うと北工業高等学校のその定時制の部分がなくなくなってしまうこと、或いはあさか開成、須賀川の第二高校の方

も無くなりませんが、高校は新しい方向に向け様々な意味を持っていると考えています。

### 駅前再開業ビルの全貌

高校が建つと言うことで、ビルの話をさせていただきますと1階から5階までが商業層に成っております。そして6階、7階が市民プラザになっておりましてその中には市役所の窓口とか、或いはギャラリーとか、或いは多目的ホールとか、或いは図書室とか、更には7階には高齢者大学としての安積の大学がその中に入る事になっております。8階から14階までの7階分が県立高等学校が入ることになっており、昼間部、夜間部とその間に自由選択の課程があり、昼間部と自由選択を併せますと3年で卒業できます。夜間部と、真ん中に位置しております自由選択の課程を取りますと、これもまた3年で卒業できることになっております。更に単位互換性が可能で、高校を中途退学した方が退学した高校の単位をそのままこの高等学校の中で活かす事ができます。また通信制も互換できるので、非常にバラエティーに富んだ高校になります。15階から19階までは事務所相になっております。そして20階から24階までが科学館で、二応仮称がふれあい科学館と言うことになっておりますが、20階には福島大学経済学部と教育学部のサテライト校が大学院として位置づけられております。今直接的な要求が大学の方から数日前に入っており、経済学部の方は直接こちらに来て授業をしたい。教育学部の方は授業をテレビ授業と言う形で、双方向の授業として進めたいという事で時折、教授の方も出席になる形のもの出来上がります。21階、



郡山市教育長 丹治 勇氏

22階に、宇宙をテーマにした科学館が入ります。今、日本の国は資源がないので、どういふ方向に進んでいくかは、文化立国、そして化学技術創造立国、こういう事を掲げておりまして、科学技術創造立国の二つの方向に寄与する事が出来るのではないかと考えております。23、24階にプラネタリウムを位置づけ、星空を見るだけのものではなく、中には結婚式を星空を見ながらやりたいと申し込む方も有るかも知れません。とにかく壁面全体に映し出す全天周映画を予定しております、これはフィルムが世界で余り数が無い様なものですから、年間6000万くらい掛かりますけれども、そういうものを映像として出したい。もう一つ全国で初めてと思いますが、インターネットによるデジタル映像をその全天周の所に映し出したい。こんな考えで進めています。たとえばハワイ島の望遠鏡の映像をそこに映し出すとか、或いはちやうど日中の地球の裏側の夜の星空をそこに映し出したりアルタイムに進める。或いはNASAの人工衛星打ち上げの瞬間をそこに映し出す事が出来るよう

な計画を持って進めております。この考え方を更に市内の小中学校に校内RANを今年から進めていくことになっており、そのものとタイアップしながら、より科学の情報を小中高등학교、大学までも提供して行きたいと考えております。勿論これは郡山市内ばかりではなく、県内各地に送り出したいと考えてもおります。

### コンピュータによる理科離れの歯止め

理科離れが進んでいると言われてますが、段々子供の数が少なくなってきた上で理科離れと言うことになりまして、工業高等学校は一体どうなるのかと心配する方もありますが、実はこのことについては積極的に文部省でも科学技術面で取り組みたいと言っているのもあり、インターネットについても、平成14年度までは小中学校全校、高校ではだいたい入っておりますので、小中高、大学すべてに設置されるようになると考えております。小中学校でも整備されまして、更に科学面に対する興味関心というものが違ったものになってくると考えております。更に、ある団体から40人学級を30人学級にするべきではないかと動きがあり、国の方としても40人学級は今後も堅持して行く、しかしながら教科によつては30人学級も実現していく、こういう考えを持っておりまして、その教科と言いますのは小学校では、国語、算数、理科。中学校では英語、数学、理科。理科については小中共に非常に重視した方向でして、これによつて理科に対する子供たちの関心を高めたい。また高まる方向に行くのではと考えています。実は工業高等学校と駅前ビルの高等学校について、私は高等学校の中に

もテレビ授業の出来る様な装置を位置づけて頂いて、特にインターネット等によつてその映像を送り出せるように、工業高等学校から情報に関するものとか、或いはそれぞれ専門的な部分について、県内の職業人に対して講座を開設し、高等学校の持っているノウハウを市町村民の方々に出してやる事が出来るならば、工業高等学校の役割も非常に大きくなくなってくるのではないかと考えております。

### これからの工業高等学校と「貫教育

工業高等学校につきましては、北工にお邪魔をしまして校長先生とお話させていただきましたが、いつも校長先生の教育理念すばらしいお話を頂いて、これからの工業高等学校というのは高度な技術を持った職人芸とも言える方を養成していくのも一つの使命だとお話をされ、非常に感動いたしました。それとともにIT革命、或いは情報革命とか言われるような方向に世の中は進んでいくと思いますが、それと併せて工業高等学校がどうなっていくのかについて、学校案内を見せていただきますとコンピュータとそれぞれの7つの学科が関連して、そこに位置づけられておりますが、実はそのコンピュータと専門学科との関わりをふまえないで、学校が更に高度な技術を身につけると様な関連の中で進めていくことによつて、工業高等学校のさらなる発展が有るのではないかと考えております。また、校長先生も言われましたように高度な技能というのは、高等学校の若い時代から身につけていく、それを次第に高度化していく、それが大切と言う話をされておりました。出来るだけ年

の若い段階から直接触れていく機会があれば、違うのではないかと考えるときに、たとえば中高貫教育という面から、郡山北工業高等学校の在り方を探ってみますと、中学校段階で共にその中で学習できるような態勢をつくりまして、全てと言う訳にはまいりませんが、一部の子供たちが6年間の課程にわたつて教育を受けることによつて、かなり特色のある学校が形成されると考えております。本校の学校の教育目標が「調和」「創造」そして「特色」を上げていますが、その特色ある学校造りというものに更に取り組んでいくことも本校の発展、そして同窓会を更に発展させる大きな原動力に成ると考えておまして、色々な角度から今検討させていただいているところです。

### 終わりに

先輩の方々の多数の皆様方の前でなので色々準備をしておりましたが、何分の一かを申し上げて、間もなく時間になりますので終わらせていただきますが、私もこんな仕事をしたいために、あまり同窓会の方に協力をお願いしたいと思っております。会長さんをはじめ、同窓会の役員の皆様方、会員の皆様方の日頃のご協力に対しまして厚く御礼を申し上げます。また、校長先生をはじめ職員の皆様方にも大変なご努力ご協力を頂いてまして、郡山市の発展のために大きな役割を担っている訳でございます。改めて厚く御礼を申し上げます。この同窓会の層の発展とご参会の皆様方のご健勝を御祈念を申し上げ講話に代えさせていただきます。と最後にご挨拶され、盛況内に修了いたしました。



# 生徒会だより

生徒会顧問 厚海 肇

今年度の生徒会活動状況を報告します。

五、六月に行われました高校総体では、多くの部が県大会に出場し活躍しました。バレーボール部は県大会準優勝、陸上部、水泳部は東北大会に駒を進めました。残念ながら入賞には至りませんでした。

七月には校内球技大会が行われました。天候にも恵まれ、各クラスとも優勝目指して熱戦を繰り広げました。例年より一日短縮で行われましたが、みんないい汗をかき、充実した球技大会でした。

また、全国高校野球選手権福島県大会では、暑い中多くの生徒が応援してくれましたが、三回戦で敗れてしまい残念でした。

九月には生徒会役員改選が行われました。今年の役員改選は例年になく立候補者が多く、熱い選挙戦が繰り広げられました。その結果、新生徒会長に環境システム科二年の橋本真由美が就任し、以下十五名の新役員を迎えることになりました。来年行われる「北嶺祭」に向けて、新旧役員で研修会を開き、熱心に討議しました。

十月には校内ミニ文化祭が行われました。各クラス対抗の演芸大会で、踊り、合唱、一発芸、未成年の主張など多種にわたって発表され、大きな盛り上がりを見せました。



スピードスケート少年男子2000メートルリレーで決勝進出を決めた本県チーム。(左から)星清隆、高橋藤典、野内俊吾、菅野喬徳(郡山北工高)



野球部

十一月の高校サッカー選手権福島大会では、今年も準決勝まで勝ち進みました。多くの生徒が応援に参加しましたが、惜しくも準決勝で敗れてしまい残念です。冬季競技のスピードスケート部は全国大会に出場し、見事入賞を果たしました。

文化部の活動では、美術部写真部、アニメーション部が、三部合同展示会を開催、また、吹奏楽部は定期演奏会を開催しました。

研究や製作においては、全国高校生プログラミングコンテストにおいて最優秀賞、生徒研究成果発表全国コンクールでは特別奨励賞、福島県マイコンカー競技会優勝、と大活躍でした。

今年度を振り返ると、非常に活動的な年であったと思います。新世紀を迎えて、北工生の更なる活躍を期待します。

終わりに、平成十三年度は、三年に一度の「北嶺祭」が開催されます。生徒・教職員が一丸となって成功に向けて取り組んでいます。同窓生のみなさん、お誘い合わせのうえ、是非とも御来校下さい。在校生、生徒会、同首を長くしてお待ちしています。

## 部活動大会成績報告

平成12年度

### 〈全日制〉

#### 野球部 顧問 福田 俊彦

部員数70名と福島県の県立高校では、最も多い部員集となりました。中学時代には技術的に目立った選手はおりませんが、1冬越えることに技術的にも精神的にも大きく成長しています。昨年の春の大会では日大東北を敗り、県大会でもベスト8に進出、さらに北工初のシード権も獲得しました。夏の大会は不本意な結果に終わってしまいましたが、新チームも46名の選手で一生懸命練習に励んでいますので、来年は今年以上の成績をおさめるように頑張っていきたいと思ひます。

- ・春季東北地区高校野球県中地区大会 ..... 準優勝
- ・春季東北地区高校野球福島県大会 ..... ベスト8
- ・県中地区高校野球選手権大会 ..... 第3位
- ・全国高校野球選手権福島大会 ..... ベスト32
- ・郡山市長旗争奪高校野球大会 ..... 第3位

#### サッカー部 顧問 羽田 孝明

昨年に引き続き今年も県大会ベスト4で惜敗してしまいました。しかし福島県の高校・社会人サッカーをリードする北工らしく、天皇杯予選ではOBチームと北工同士の対戦が出来ました。来年こそは全国大会に出場し活躍できることを目標に掲げ、部員一丸となって今まで以上に頑張りたいと思ひます。

- ・福島県高校体育大会 ..... ベスト4
- ・天皇杯サッカー福島県予選 ..... 4回戦
- ・高校サッカー選手権 ..... ベスト4

#### 陸上部 顧問 星 保男

- ・第46回県高校体育大会
  - 100m 佐藤章仁 ..... 第3位
  - 棒高跳び 生沼幸一 ..... 第2位
- ・第55回県総合体育大会兼第55回県陸上選手権大会
  - 110mH 三坂太志 ..... 第2位
  - 棒高跳び 生沼幸一 ..... 第1位
  - 走高跳び 加藤ひとみ ..... 第1位
- ・第40回県高校新人陸上大会
  - 110mH 三坂太志 ..... 第1位
  - 4x100mR (三坂、吉田、石井、金澤) ..... 第3位

#### ソフトボール部 顧問 大森 史仁

- ・第46回県高等学校体育大会 ..... 準優勝
- ・第53回福島県総合体育大会 ..... 第3位
- ・平成12年度福島県高校新人大会 ..... 準優勝

#### バレーボール部 顧問 増子 裕

今年こそ全国大会に出場したいと思います。

- ・第46回県高等学校体育大会 ..... 準優勝
- ・東北高校体育大会出場
- ・第53回県総合体育大会 ..... 準優勝
- ・新人戦県大会 ..... 準優勝

#### 水泳部 顧問 田中 潔

今年度は、有力選手が卒業した中、モデルリレーに力点を置いて練習してきました。4種目とも泳力がある選手がいなくて入賞が難しい種目です。今年度は幸い、平泳ぎの大内君を中心にまとまりのあるチーム作りができ、東北大会出場や県総体での3位入賞を果たすことができました。

- ・インターハイ関係
  - 男子 個人5、リレー1 ..... 東北大会出場
  - 女子 地区総合6位 個人5リレー2 ..... 県大会出場
- ・県総体
  - 入賞(男)個人3、リレー2(400m外、リレー3位)
- ・新人戦
  - 入賞(男)個人6、リレー2
  - 個人3、リレー1 ..... 東北大会出場

#### スピードスケート部 顧問 清水 秀昭

部員達は厳しい練習を乗り越え、たくましく成長した。全国トップの選手と肩を並べたインターハイ・国体ではそれぞれが力強く滑り大活躍を見せた。

- ・第12回東北高等学校スケート競技選手権大会
  - 星 清隆 500 ..... 3位 1000 ..... 5位
  - 菅野喬徳 1000 ..... 3位 1500 ..... 2位
  - 高橋藤典 3000 ..... 5位 5000 ..... 8位
  - 野内俊吾 500 ..... 7位
- ・全国高等学校総合体育大会 第50回全国高校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会
  - 1500m ..... 菅野喬徳 ..... 第8位
  - 他出場者 高橋藤典、星 清隆、野内俊吾、松尾美保
- ・第56回国民体育大会冬季大会スケート競技・アイスホッケー競技会
  - 500m ..... 星 清隆 ..... 第7位
  - 1000m ..... 菅野喬徳 ..... 第6位
  - 1500m ..... 菅野喬徳 ..... 第6位
  - 他出場者 高橋藤典、野内俊吾

#### 囲碁将棋部 顧問 神津 裕一

- ・第14回東北高校囲碁選手権大会
  - 波邊清人 福島県選抜三将として出場 ..... 第4位

### 〈定時制〉

#### 県定通体育大会 (郡山市)

- 団体 ソフトテニス男子 ..... 優勝
- バスケットボール男子 ..... 第3位
- 個人 ソフトテニス男子
  - 優勝 加藤俊幸・浅野敏和組
  - 2位 村山恭理・大山正好組

#### 全国総合体育大会 (東京 有明テニスの森公園)

- ソフトテニス
  - 男子団体1回戦 福島2-3新潟
  - 個人2回戦 加藤・浅野0-3内村・金本(三重)
  - 村山・大山1-3堀・塩本(兵庫)

# 進路状況

## 「厳冬の期の求人状況の中で」

進路指導主事 本田 浩

経済不況はなかなか回復せず、昨年度の求人が史上最悪でありましたが、今年度は更に求人数が少なくなりました。県内で昨年に比較し6%減、平成9年度と比較してみたら43%減、県外の場合と同じく6%減、55%減となつてしまいました。

未定者が大学関係で5名、専門学校関係で5名おりますが、今年度は大学進学希望者が多かったが、指定校推薦で新しく玉川大学、関東学院大学、東京電気大学は例年1名だったのが今年度は4名など指定校及び一般推薦で昨年以上の合格者を出しています。

本校の生徒の就職希望者数は例年と変わりなく、2/3が就職希望で、約240名、そのうち約200名が学校(職安)をとおしての就職となっております。第1回目での合格率は昨年より少し上がつて71%となっております。

進路不定者(フリーター等)が増えてきていることが気になります。テレビなどで報道されましたので既にご存じかと思われませんが、今年度から2年生を対象に郡山職安主催で11月にジュニアインターシップが行われ、郡山職安管内高校全体で150名の参加者の内、本校から24名が参加しました。

1回目目で不合格となった生徒は各企業から二次募集を沢山頂いており、また職安のFネット求人や就職面接会(職安主催)など97%の内定率(職安関係)となっております。未定者も職安関係で7名(昨年2名)、自営縁故関係は7名(昨年5名)となっております。このような状況の中でも大変良い成果が得られましたのも同窓会関係の皆様のご協力のおかげと感謝しております。

進路不定者(フリーター等)が増えてきていることが気になります。テレビなどで報道されましたので既にご存じかと思われませんが、今年度から2年生を対象に郡山職安主催で11月にジュニアインターシップが行われ、郡山職安管内高校全体で150名の参加者の内、本校から24名が参加しました。参加生徒にとつて大変貴重な企業体験であったと思います。出来る限り多くの生徒にも体験させ、職業意識を持たせたいと考えております。数年後からは実業高校生全員に義務づけられますので、同窓会の皆様の多大なご協力をお願いいたします。

進学関係では生徒数の減少でかなり入りやすくなつております。



福島県立郡山北工業高等学校進路指導部 2001年 1月31日現在 ( )は女子内数

科	機械		電気		電子		情報		建築		環境		化工		合計	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
在籍数	78(1)		74(0)		38(0)		40(7)		34(7)		38(8)		73(20)		375(43)	
就職内定数	県内	37(0)		38(0)		17(0)		15(2)		12(3)		22(5)		37(10)		178(20)
	県外	2(0)		4(0)		6(0)		3(1)		5(0)		3(0)		4(0)		27(1)
	公務員	3(0)		2(0)		2(0)		0(0)		0(0)		2(0)		4(0)		13(0)
	縁故・自営等	1(0)		4(0)		1(0)		0(0)		4(2)		3(0)		2(1)		15(3)
	合計	43(0)		48(0)		26(0)		18(3)		21(5)		30(5)		47(11)		233(24)
進学者数	大学	6(0)		3(0)		3(0)		12(1)		3(0)		2(1)		4(0)		33(2)
	短大	2(0)		0(0)		0(0)		0(0)		0(0)		0(0)		1(0)		3(0)
	準大学	0(0)		0(0)		0(0)		1(0)		1(0)		1(1)		0(0)		3(1)
	訓練校	4(1)		1(0)		0(0)		0(0)		0(0)		1(0)		2(1)		8(2)
	専門	15(0)		9(0)		4(0)		6(2)		5(1)		4(1)		9(4)		52(8)
	合計	27(1)		13(0)		7(0)		19(3)		9(1)		8(3)		16(5)		99(13)
就職未定者	2(0)		8(0)		0(0)		1(0)		1(1)		0(0)		2(0)		14(1)	
進学未定者	1(0)		2(0)		1(0)		2(1)		3(0)		0(0)		1(0)		10(1)	
進路不定者	5(0)		3(0)		4(0)		0(0)		0(0)		0(0)		7(4)		19(4)	
総計	78(1)		74(0)		38(0)		40(7)		34(7)		38(8)		73(20)		375(43)	

### 求人件数(求人票枚数)

県内	282	県外	341	合計	623
----	-----	----	-----	----	-----

### 進路内定率

就職	94.3%	大学進学	82.5%	短大その他	95.7%
----	-------	------	-------	-------	-------

### 産業別内定状況

科	機械		電気		電子		情報		建築		環境		化工		合計	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
建設 09~11	4	0	13	0	0	1	0	1	10	3	7	0	2	2	36	7
製造 12~34	28	2	22	2	10	5	10	1	0	1	12	1	31	2	113	14
電気ガス 35~38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸通信 39~47	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	3	2
卸・小売 48~61	3	0	0	0	4	0	3	0	1	0	2	0	1	0	14	0
金融保険 62~69	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
サービス 72~96	1	0	2	2	3	0	2	0	0	0	0	1	3	0	11	3
公務	3	0	2	0	2	0	0	0	0	2	0	4	0	4	13	0
合計	40	2	40	4	19	6	15	3	12	5	24	3	41	4	191	27

### 職業別内定状況

科	機械		電気		電子		情報		建築		環境		化工		合計		
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	
専門的・技術的職業 01~20	1	0	3	0	1	1	1	0	6	2	0	0	2	1	14	4	
管理的職業 21~24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事務的職業 25~31	1	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	2	0	6	2	
販売的職業 32~33	0	0	0	0	3	0	1	0	2	0	0	0	2	0	8	0	
サービスの職業 34~39	0	0	1	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3	4	
保安的職業 40~42	3	0	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	4	0	13	0	
運輸通信的職業 46~50	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
生産工程・業務的職業	金属材料 51	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	化学製品・窯業 52~54	2	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	13	1	18	1	
	金属加工・機械器具 55~57	11	0	3	2	1	1	1	0	0	1	4	1	5	1	25	6
	電気機械器具 58	12	0	15	0	6	0	7	1	0	0	2	0	4	0	46	1
	輸送用機械・光学機器 59~60	4	2	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	6	4
	その他の製造 61~72	3	0	4	0	2	1	1	0	0	0	7	0	9	0	26	1
	位置機関・電気 73~74	1	0	8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1
	その他業務 75~80	1	0	2	0	0	0	0	0	4	2	7	1	0	0	14	3
合計	40	2	40	4	19	6	15	3	12	5	24	3	41	4	191	27	

### 公務員内定内訳(延数)

職	一次合格者数		二次合格者数		最終合格者数	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外
自衛隊2等陸・海・空士	11	16	／	／	11	16
曹候補士	4	13	2	4	2	13
一般曹候補生	0	10	／	／	0	10
航空学生	0	4	／	／	0	4
郡山地方広域消防組合	0	5	／	／	0	5
須賀川	0	1	／	／	0	1
福島市役所(消防士)	0	1	／	／	0	1
郡山市役所	1	1	／	／	0	1
二本松市役所	0	2(2)	／	／	1	2(2)
船引町役場	0	1	／	／	0	1
福島県庁	0	1(1)	／	／	0	1(1)
福島県警	0	3	／	／	0	3
福島地方裁判所	0	1(1)	／	／	0	1(1)
警視庁	0	1	0	1	0	1
東京消防庁(消防官)	0	1	／	／	0	1

# 特集

## 定時制課程の閉課程について

平成13年度をもって、本校の定時制課程は閉課程となります。沿革をひもといてみますと、

### 沿革

昭和34年 福島県郡山工業高校に夜間課程産業科、機械科を設置  
昭和36年 別科産業科募集停止  
昭和38年 電気科、産業科(電気工事士コース)設置  
昭和40年 建設科設置(昭52募集停止)  
昭和45年 産業科募集停止  
昭和52年 県立郡山北工業高等学校と改称  
昭和55年 定時制機械科、電気科夜間照明設備完成  
昭和63年 機械科、電気科募集停止、工業科設置  
平成11年 工業科募集停止、普通科設置  
平成13年 普通科1、2年生は郡山萌世高等学校へ移り、工業科4年生のみ在籍

### 卒業生

1350余名にのぼる。

### 部活動

ソフトテニス部は全国大会(東京有明の森)の常連である。他に

も柔道での全国大会(東京講道館)やバレーボール部の全国大会(東京体育館)など記憶に新しい。

### 校風

一校訓「調和・創造・特色」のとおり、バランスのとれた創造力や個性のある人間の育成が目標。規律を守り、適性を生かす進路選択など、立派な社会人・職業人をめざす堅実な伝統がある。

### 行事

平成12年度には最後の修学旅行(沖縄)が行われ、学校長を団長に3年生と4年生19名が参加した。また、定時制の特色として、ボウリング大会があげられる。近くにボウリング場があるため、学友との親睦をはかっている。芸術教室では郡山市内の映画館に出掛けていて鑑賞するのも特色である。



最後の修学旅行で特に印象に残ったのは、ひめゆり平和祈念資料館である。生徒の感想を紹介しますと……ひめゆりの塔を見学した時は、記念品というか、戦争中に使用された道具が飾られていたり、ひめゆり学徒隊など女学生で組織されていた人達の亡くなった写真が壁一杯にはられていた。これ程までに生々しく感じたことは初めてでした。道具等は、血でそまっていたタオルなどがあり、身ぶるいました。戦争に対する考え方を改める要因になったなあ、と思う旅行でした。



最後の入学式の後のオリエンテーションで定時制の職員を紹介を教頭が行っています。この生徒達は郡山北工業高校定時制普通科入学、郡山萌世高校卒業となります。



実習風景は電気コースの電子技術です。電界強度について実験をしています。窓に蛍光灯の光が反射して、その外はまっ暗です。

**弱電部品製造・精密金型製造、販売**  
 **株式会社 ザイン**  
 代表取締役 鈴木廣哉(昭和40年度 機械科卒)

本社 〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字前物打57-1  
 TEL 024-934-0699 FAX 024-922-7403  
 URL <http://www.sein-gr.co.jp/>  
 E-mail: info@sein-gr.co.jp

財迎香港有限公司 香港九龍尖沙咀赫德道8號26樓C室  
 TEL 852-2314-3735 FAX 852-2314-3731

雁田財迎五金電子廠 中国廣東省東莞市鳳崗鎮雁田管理區鎮田北路42號  
 TEL 86-769-7770958,7770959 FAX 86-769-7770948

**株式会社**  
 **リスキン郡山**

代表取締役 大橋 栄治  
 (昭和41年 工業化学科卒)

郡山市安積町長久保3丁目3-11  
 TEL (024) 947-3737  
 FAX (024) 947-3739

フリーダイヤル 0120-01-4403

**ぴゅあ**

5のつく日と日曜祝日は  
 ぴゅあゴーゴー

〒963-8041  
 郡山市富田町字権現林19-1  
 TEL 024 (962) 0388  
 FAX 024 (962) 0389

- パチンコ●  
 ぴゅああさか  
 ぴゅああづま  
 ぴゅあインター  
 ぴゅあ大つき  
 ぴゅあアネックス
- GAME●  
 ASOBUBAY

**営業品目**

火災報知設備・構内交換電話設備・消火設備  
 防火排煙設備・非常用放送設備・テレビ共聴設備  
 消火器・防犯設備・以上に附帯する一切の業務

**田村通信防災工業株式会社**  
 代表取締役 増子 久治(昭和42年度電気科卒)

郡山市安積町荒井字下北井前4-1  
 ☎(024)945-2882(代) FAX(024)946-2875

塗料及塗装の専門商社  
 街にいろどり、くらしに喜び。

**株式会社 テックス**

代表取締役社長 樫山 哲男  
 (昭和53年 工業化学科卒)

会社 〒963-8845 郡山市名倉14の2(桜小学校前)  
 TEL (024) 945-1499(代) FAX (024) 945-1485

自宅 〒963-8846 郡山市久留米1丁目41の4  
 TEL (024) 945-2895

民間車検場  
 車のコンサルタント

SINCE 1980  
**CAR SERVICE SHOP**  
 Soeta  
 The garage you can trust for reliability and high quality

車のことなら  
 おまかせください

各種新車・中古車販売・車検整備  
 板金・焼付塗装  
 クレーン・レッカー作業

**有限会社 ソエタ自動車**  
 代表取締役 添田 善一郎

〒963-1304 郡山市熱海町安子鳥字対面1-27  
 TEL (024) 984-3350  
 FAX (024) 984-3123

## 平成11年度 基本金報告書

中国ファンド	3,414,552	野村証券
定期預金	53,071	大東銀行
11年度入会金・会費×0.1	493,500	大東銀行定期預金
合 計	3,961,123	

## 平成11年度 会務報告

年月	行事名	内容等	場所
H11 4.3 4.9	幹事会 入学式	平成11年度定期総会について	ホテルはまつ 学校
5.7 27	幹事会 三役会 企業内支部情報誌発刊	平成11年度定期総会について 平成11年度総会最終打ち合わせ	ホテルはまつ 龍宮城
6.12 26	平成11年度定期総会 東京支部総会	校長、会長、副会長、事務局2名出席	ホテルはまつ 東京・上野
7.9 27	企業内支部連絡協議会 三役会	新役員顔合わせ兼総会反省会について	ホテルはまつ 東京・上野
8.28	総会反省会	新役員顔合わせ兼総会反省会	ホテルはまつ
11.14 11.26	三役会 幹事会	今後の活動方針について (平成12年度定期総会、同窓会報の内容等について)	龍宮城 ホテルはまつ
H12 2.5	水戸支部総会	水戸支部創立40周年記念総会 (校長、会長、副会長、事務局 計6名出席)	ひたちなか市
2.29	同窓会入会式(全・定)		学校
3.1 26 31	第23回卒業式 幹事会 会計監査	会長・副会長 平成12年度定期総会について 平成11年度会計	学校 ホテルはまつ 龍宮城

## 平成11年度 決算報告書

1 収入総額 5,961,193円      2 支出総額 4,815,175円      3 差引残高 1,146,018円

### 1.収入の部

項目	予算額	決算額	増△減	備考
繰越金	555,214	555,214	0	
会費	2,562,000	2,535,000	△ 27,000	382人×6,000+27人×9,000
入会金	2,400,000	2,400,000	0	400人×6,000
会誌広告料	160,000	399,475	239,475	20,000×19社+19,475×1社
一般寄付	70,000	71,000	1,000	13名
雑収入	2,000	504	△ 1,496	利子
合 計	5,749,214	5,961,193	211,979	

### 2.支出の部

項目	予算額	決算額	増△減	備考
基本金	471,000	493,500	△ 22,500	入会金・会費×0.1
会議費	500,000	476,420	23,580	三役会 幹事会
事務費	150,000	35,222	114,778	
慶弔費	300,000	340,400	△ 40,400	饗別、香典
通信費	1,700,000	1,511,370	188,630	会報送料等
旅費	300,000	257,930	42,070	東京 日立 水戸支部
会誌編集費	800,000	632,835	167,165	会誌印刷
渉外費	200,000	132,695	67,305	関係機関との交渉諸費
卒業生諸費	350,000	278,376	71,624	卒業記念品 会長賞
事務局費	160,000	160,000	0	事務局手当
北嶺祭	0	0	0	
支部助成金	350,000	233,125	116,875	東京 日立 水戸支部
学校案内助成	100,000	99,435	565	学校案内印刷
総会費	300,000	163,867	136,133	総会補助
予備費	68,214	0	68,214	
合 計	5,749,214	4,815,175	934,039	

差引残高 ¥1,146,018は次年度へ繰り越します。

平成12年3月25日 福島県立郡山北工業高等学校

### 平成11年度 人事異動にともなう 退職・転出者

全日制		敬称略	
教科等	氏名	教科等	氏名
電気	高橋 正彦	機械	佐々木 郁雄
電子	船山 雅行	機械	浦井 照夫
社会	相澤 充	環境	佐々木 勝則
理科	荒井 茂雄	化工	根本 マサ
機械	野内 康平	事務長	藤田 泰丞
機械	佐藤 幹啓	事務次長	橋本 秀子
電気	遠藤 達雄	主査	渡辺 輝子
国語	八城 曜子	定時制	
国語	猪俣 雄介	保体	大河原 清
数学	大原 秀行	機械	斎藤 清夫
英語	高橋 昌美	社会	公家 孝典
保体	大竹 始	数学	渡邊 喜充
情報	大須賀 栄一		
環境	青木 亨		
化工	関根 孝良		

平成12年3月25日 福島県立郡山北工業高等学校

### 平成12年度 人事異動にともなう 転入者

全日制		敬称略	
教科等	氏名	教科等	氏名
国語	鈴木 倫子	化工	山口 賢子
数学	澁谷 優子	国語	土田 隆弘
保体	大森 史仁	社会	公家 孝典
英語	森川 章夫	数学	渡邊 喜充
理科	菊地 喜作	英語	谷津 周二
機械	斎藤 清夫	事務	野口 起由
機械	帆足 勉	事務	斎藤 善雄
電気	厚海 肇	事務	武藤 尚子
電子	小森 拓史	事務	今泉 美枝子
情報	加藤 正明	定時制	
環境	中村 政良	数学	本田 真理子
化工	若菜 靖彦	社会	南方 拓
機械	根本 光男	保体	渡邊 亮
機械	浦山 敏	商業	庄司 一馬
環境	並木 稻生	社会	柏山 恵太

### 平成11年度新入会員報告

全日制		定時制	
科	人数	科	人数
機械科	78名	工業科	27名
電気科	73名		
電子科	40名		
情報技術科	38名		
建築科	38名		
環境システム科	38名		
化学工学科	77名		
小 計	382名	小 計	27名
		合 計	409名



全日空ホテルで平沼通産大臣から表彰を受ける松尾美保さん(情報技術科2年)

**プログラミングコンテスト 全国2大会でトップ**

平成12年度全国情報教育研究会の全国高校生プログラミングコンテストで優秀賞はじめ優良賞2点、佳作1点など多数入賞、また通産省の平成12年度全国高校生・専門学校生プログラミングコンテストで優秀賞を受賞した。このように二つのプログラミングコンテストで全国のトップになった。

これらは情報技術科の1年から3年まで4チームで合計13人が放課後や夏休みに様々な困難を乗り越えて作成したプログラムである。

3年前から着実に成果を上げ今回大きく花開いた。来年度も大きな成果を目標としている。今後、伝統として受け継ぐようにしたい。

### 我がデジタルワールドに不可能はない

デジタル・デザインの応用分野は、印刷以外にも生かれます。例えば、インターネットのホームページ制作やCD-ROM制作を通して、マルチメディア社会の、あらゆる媒体制作プロダクションとして飛躍したいと考えます。



印刷機材総合販売・デジタル製版・マルチメディア関連事業  
**株式会社 ヨシダコーポレーション**  
 本社〒963-0724 郡山市田村町上行合字北川田22-1  
 TEL 024 (942) 0005 FAX 024 (942) 2233  
 URL <http://www.yoshida.co.jp/>

東郷村 **ヨシダの手造りみそ** 通信販売 受付中  
 通信販売のご注文・お問い合わせは  
 TEL 024 (942) 1101  
 FAX 024 (942) 2233

### (株)プリベント大沼

自動車整備・販売・リース・保険・他

国際規格ISO14001認証取得

代表取締役社長 **大沼 良雄**  
 (昭和31年 建築科卒)

郡山市字賀庄44-1  
 TEL (024) 945-0605 FAX (024) 947-0580  
<http://www.media-yoshida.co.jp/o-numa/>  
 E-mail:y-oonuma@asaka.ne.jp

マイクロバス(25人・28人乗り)・ワゴン車(10人・8人乗り)  
 乗用車・ライトバン・高所作業車・トラック(軽・1t・2t)  
 アルミバン(2t~4t)・3t積車載車・冷凍冷蔵車(2t)

### 有限会社 郡山中央レンタカー

代表取締役 **渡辺 俊彦**

〒963-8061 郡山市富久山町福原字水尾沢19番地の3  
 TEL (024) 924-0844・932-8828 FAX (024) 934-5334  
 あいおい損害保険(株) 総合代理店  
 ホームページアドレス <http://www.alles.or.jp/kooriyam>

平成12年度 同窓会役員名

Table listing alumni association officers for Heisei 12. Columns include position (e.g., 相談役, 会長), name (氏名), affiliation (勤務先), and graduation year/course (卒年度科).

平成12年度 一般寄付者名

Table listing general donors for Heisei 12. Columns include name (氏名), affiliation (卒年度科), and donation amount (金額).

平成12年3月現在の同窓生の総人数

昭和19年4月開校された郡山工業高等学校と、昭和38年4月開校された郡山西工業高等学校が、昭和52年4月、福島県立郡山北工業高等学校となった。平成12年3月まで下表のとおり卒業生を送り出している。

Summary table of alumni counts for Heisei 12. It compares Heisei 12 graduates with Heisei 12 graduates from Heisei 12, showing counts for various departments like Mechanical, Electrical, and Chemical Engineering.

Advertisement for KAGA Design, a one-level architect's office. Includes contact information for KAGA Art Design Co., Ltd., located in Fukushima Prefecture.

Advertisement for Ryūkyūjō (龍宮城), a traditional Chinese restaurant. Features the name in large stylized characters and provides details for their main branch and an inner-city branch.

Advertisement for Yabuchi Accounting Center (矢吹会計センター), a tax and accounting consultant. Lists services, contact info, and office address in Fukushima Prefecture.

# 総会風景

先崎一郎氏(郡31機)  
前同窓会長の乾杯の音頭



受付



同窓会の発展を祈念して 小田島森彦氏(郡24機)



懇親会

## 事務局だより

少子化の影響により本校でも来年度は電気科が一学級減となりました。又定時制工業科も14年度より閉課程となり本校での定時制はなくなります。

社会経済状況もまだまだ低迷が続いておりますが、本校では同窓生等の活躍・御努力・御支援等により就職・進学も大変好調です。しかし、残念ながら同窓会への活動が停滞しておりますので、なお一層同窓会が活発になりますよう総会への参加・御協力・御支援を御願い申し上げます。

## 《一般寄付の御礼・御願い》

本年度は振込用紙を同封のうえ一般寄付をお願い致しましたところ97名の同窓生の方々より393,880円のご寄付を頂きました。

寄付金は同窓会の運営のために有効に執行させていただきます。誠に有り難うございました。

本会も郡工・西工・北工の卒業生も合計して1万9000余名となり会報の郵送・会運営等に多額の予算が必要となっておりますので、是非多くの同窓生の方々のご寄付をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

なお、寄付金は「一口 2,000円」となっており幾口でも結構です。

口座番号の記入した振込用紙を同封いたしましたので金額・氏名・住所・卒業年度・学科等記入のうえお願いいたします。

来年度は振込用紙にて同窓会総会参加の会費も納入していただけるようにいたしますので多数の会員の方々の参加をお待ちしております。総会参加希望者は一般寄付・総会参加会費の別を通信欄にはっきり記入して会費を納入して下さるようお願いいたします。

民間車検工場  
損害保険代理店

## (有)東急自動車工業

代表取締役 小林 八郎  
(昭和43年 機械科卒)

〒963-0725  
郡山市田村町金屋字川久保94  
TEL (024) 943-5263 (代) FAX (024) 943-5149

建具材センター  
建具材・一般建築材・新建材

## 田村木材店

田村 昌孝  
(昭和40年 建築科卒)

〒963-0725  
郡山市田村町金屋字新家43  
TEL (024) 944-3640 FAX (024) 944-2467

住んでよし 心づかひな木の住まい

電気設備工事・設備設計・保守管理

## 株式会社 竹中電気

代表取締役 竹中 広之  
(昭和50年 電気科卒)

ホームページアドレス <http://www3.ocn.ne.jp/~denntake/>  
E-mail:denntake@mocha.ocn.ne.jp

〒963-8061  
福島県郡山市富久山町福原字西原28番地1  
TEL 024-922-4052 FAX024-922-9018